

二子玉川地区水辺地域づくりワーキング

ニュースレター 第8号 2021. 8. 27

発行：国土交通省京浜河川事務所 世田谷区

令和3年7月11日(日)に、第8回二子玉川地区の水辺地域づくりワーキングを開催しました。

■地域住民や二子玉川地区で活動されているみなさまを対象に、第8回二子玉川地区水辺地域づくりワーキングを開催しました。合計47名の方にご参加頂きました。

■今回も、新型コロナウイルス感染症対策として、Web会議方式での開催となりました。また、Webでの参加が難しい方を対象に、感染症対策を行った上で、少人数のみ会場からWeb会議にご参加いただきました。移植可能な樹木の取扱い、特殊堤区間の植栽の取扱い、兵庫橋撤去後の代替について、これまでのご意見と対応方針、検討案をご提示し、全体討議で参加者の皆様からご意見をいただきました。

■第9回以降のワーキングでは、第8回ワーキングでのご意見をふまえた天端の通行（久地陸間の閉鎖を含む）、植栽の取扱い、兵庫橋撤去後の代替について討議を行う予定です。

ワーキングのながれ

【第1～6回】

堤防の高さを確保することを目的とした整備案をご提示し、参加者で討議を行い、対応案をお示しました。

【第7回】

樹木調査の結果報告、樹木の植樹および移植等に関する対応方針の説明を行い、ご意見をいただきました。

【第8回】

樹木の移植に関する対応方針、プライバシー確保を考慮した植栽の配置案および樹種の選定、兵庫橋撤去後の代替機能に関する案をご提示し、ご意見をいただきました。

【第9回以降】

天端の通行（久地陸間の閉鎖を含む）および植栽に取扱い、兵庫橋撤去後代替（メモリアル）の対応方針についてご提案します。

第8回ワーキングの概要

ワーキングは以下のプログラムで進行しました。

1. 事務局による資料説明

資料を用いて、「二子玉川地区の堤防整備について」、「今までのワーキングの振り返り」、「移植可能な樹木の取扱いについて」、「植栽の取扱い」、「兵庫橋撤去後の代替（メモリアル）について」、「今後のワーキング討議項目について」の6つの内容を説明しました。

2. 質疑応答（コーディネーター：東京都市大学 末政教授、五艘准教授、多自然川づくり専門家：吉村伸一先生）

説明資料に基づき、樹木の移植、植栽の取扱い、兵庫橋撤去後の代替についてご意見を頂きました。

3. 全体とりまとめ（コーディネーター：東京都市大学 末政教授、五艘准教授）

頂いたご意見について、コーディネーターのお二人にとりまとめて頂きました。

～ワーキングの様子～ 今回は、Web会議方式にて開催しました。



◆このニュースレターとワーキングの配布資料は以下のホームページからもご覧いただけます◆

【国土交通省京浜河川事務所】

<https://www.ktr.mlit.go.jp/keihin/keihin01099.html>

第8回ワーキングに関するご質問はこちら（8月31日まで受付）⇒ <https://forms.office.com/r/rEymv196mr>

【世田谷区】

<http://www.city.setagaya.lg.jp/tamagawa/13000/13006/d00158442.html>

～ご提示した主な対応方針～ ワーキングに提示した主な整備方針を紹介します。

- ・ 移植可能な樹木の取扱いに関しては、対象樹木は一般的な樹種であることや、移植に伴い枯れてしまうリスクがあることなどから、移植は実施しない方針としたことをご報告しました。
- ・ 植栽の取扱いに関しては、隣接する居住地のプライバシーを確保するため、目隠し機能を考慮した樹木の配置案ならびに樹種の選定例についてご提案しました。
- ・ 兵庫橋撤去後の代替に関しては、①河岸に記念碑を設置する案、②河道内にオブジェを設置する案、③飛び石を設置する案をご提示しました。

2) 植栽の取扱い

■植栽の設置目的

- ・ 谷川排水樋管～兵庫橋の特殊堤区間について、天端を通行する歩行者・自転車に対して、隣接する居住地のプライバシーを確保するための目隠し機能を確保
- ・ 樹木伐採により失われた樹木を復元

■樹木の配置方針

- ① 水平方向の目隠しとして中木（樹高2.5～3m程度）を配置
- ② 垂直方向の目隠し及びアクセントとして高木（樹高6m～7m程度）の配置についても検討
- ③ 植樹場所は特殊堤の天端部分
- ④ 伐採木の代替として、野鳥の利用等が期待されている

3) 兵庫橋撤去後の代替(メモリアル)

兵庫橋のメモリアルとして、記念碑設置(右岸モニュメント・河道内オブジェ)、飛び石設置が考えられます。

	案1: 記念碑設置 (野川右岸モニュメント)	案2: 記念碑設置 (野川河道内オブジェ)	案3: 飛び石設置
模式図			
概要	野川の右岸側に既設兵庫橋の親柱等を活用したモニュメントを記念碑として設置する	野川河道内の既設兵庫橋桁、橋脚位置付近に石などのオブジェを設置し、水中に橋の痕跡を残す	飛び石を設置して、既設兵庫橋位置において、野川左岸側から右岸側の兵庫島公園へのアクセスを確保する
治水安全性	河道内の支障物が無い	河道内の支障物は極力小さくできる	飛び石により、河積が若干小さくなる
機能性	歩行者は下流側の新橋を迂回する必要がある	歩行者は下流側の新橋を迂回する必要がある	歩行者が兵庫島公園にアクセスしやすいが、増水時は通れない
利用者の安全性	野川河道内に立ち入らないため、利用者の安全性の課題は生じない	野川河道内に立ち入らないため、利用者の安全性の課題は生じない	通行時に転落の恐れがある。
維持管理	維持管理面の課題はない	維持管理面の課題はない	洪水時に立ち入り禁止措置などを講じる必要がある
コスト	親柱を再利用すれば、再設置の費用で設置できる	飛び石よりも簡易な構造となるため、費用を抑えられる	大がかりな工事となるため、費用がかかる

【今後の予定】

次回以降のワーキングは、天端の通行や久地陸間の閉鎖を含めた動線、植栽の対応方針、兵庫橋撤去後の代替機能についてご提案します。開催に当たっては、開催案内にて事前にお知らせします。

【お問い合わせ先】

国土交通省京浜河川事務所 調査課
TEL:045-503-4008
FAX:045-503-4058

1. 樹木の移植について

- 質問：兵庫橋付近の一番背の高い木は資料中のどこに位置しており、どのような扱いになるのか。討議活発化のため、ワーキングの説明資料を事前に配布してほしい。
⇒回答：ご質問の樹木は保全対象樹木となっている。次回以降のワーキングでは資料の事前配布に対応できるよう準備したい。
- 意見：先述の高いポプラ系樹木はシンボルツリーであり、残してもらいたい。移植対象の5本の樹木は（移植はせず）そのままにして、新たに桜や鳥の集まる木など、楽しい木を植えてほしい。

2. 樹木の植樹

- 質問：天端通行の是非の議論なしに、この議論をする意義がわからない。順序が逆ではないか。前提としては天端通行なのか。天端の通行は、河川管理用通路のためなのか、散策路のためなのか。天端通行を一般に許すべきではないと考えている。また、天端を管理用通路とした場合（一般通行不可とした場合）についても、プライバシー保護は必要であり、考慮してほしい。
⇒回答：天端通行については、河川管理者としては管理用通路として、巡視のための管理用車両が通ればよいと考えている。これまでのWGで天端道路を通してほしいという意見もあったため、プライバシー保護などの検討案を提示している。
- 意見：目隠し手段よりも天端通行についての方針議論が先だと思う。現在でも夜間等の騒音が大きく、これは植栽では防ぐことができない。その他にも転落の危険性、違法駐輪の問題があるため、特殊堤の天端道路は人が通らない形にしてほしい。その上で、散策ができる形を考えてもらいたい。
- 意見：樹木の種類には、花粉によるアレルギーの無いものを選定してほしい。また、虫（カメムシ）が集まりにくい樹木を選定してもらいたい。
- 意見：樹木の植栽は、プライバシー保護の観点だけでなく防犯上の観点からも設置をお願いしたい。マンションは手前を人が通る前提で設計されていないので、人が通らないようにしてほしい。樹木の存在は温暖化対策としての機能も果たしており、ぜひ緑を残すようにしてほしい。
⇒回答：温暖化対策効果（グリーンインフラ）の観点は、ご意見のとおりと考える。
- 質問：植樹植栽の意思決定のスケジュールを確認したい。植樹と通路通行についての論点を次回WGまでに明確にしてほしい。議論としては、防犯、プライバシーといった生活者を脅かさないことを第一とすべき。
⇒回答：令和3年度中を目途に最終決定したい。論点はご意見を踏まえて次回以降に反映したい。
- 質問：本日のWGに天端通行についての議題がないのは疑問である。また、防犯とプライバシーの観点に加えて、倒木による危険性、落葉の清掃作業についても考慮してほしい。落葉の清掃作業を個人的に強いられることがないようにしてほしい。
⇒回答：今回の樹木の選定には、落葉樹は選定していない。倒木の危険性については、次回以降考慮の上、提示したい。
- 意見：多摩川の堤防の上は通常、一般の人が通れる形となっている。この区間だけ通れなくするというのは如何なものか。

第8回ワーキングで頂いたご意見 (2/3)

- 質問：散策のために堤防を作っているのではないという意見は、その通りだと思う。鎌田方面からの通行希望が以前のWGであった。別途区道へ抜ける道としてのアクセス路も確保されるのであれば、しいて天端を通す必要はないと思う。
⇒回答：区道へのアクセス路は歩行者、自転車は通行可能な道として整備する予定
- 意見：天端通行について管理と散策の話題が中心となっているが、玉堤通りが狭いので、天端道路を子供たちの通学路や通勤路としても使わせてもらいたい。
- 質問：防災委員としての観点で質問したい。数年は堤防の両側がふさがれていない状態なので、2年前と浸水のリスクは変わらないものと認識している。工事期間中に台風が発生した際などには、どのような対応がとられるのか教えてほしい。
⇒回答：第一期工事で計画高水位の高さまで堤防を整備している。令和6年度末を目処にさらに1.5m嵩上げを予定している。施工期間中における水防活動は、洪水になりそうな場合には、水防管理者である世田谷区の水防活動により土嚢積みを実施する。上流側の野川に面するマンションについては、令和元年の台風では越水していないと認識しているが、それ以上の規模の出水が生じた場合については、水防活動での対応になる。
- 質問：上流側のマンションに前回水害では水が入ってこなかったということであるが、今後浸水があった場合は、住民からの通報がなくても行政から安全確保をしてもらえるのか。
⇒回答：洪水時は河川の巡視を行い、河川の情報は世田谷区とも共有して、世田谷区が水防活動を行うことになる。
- 質問：上記マンションでは、野川から水が浸入し、庭のところまでは浸水があった。その復旧と対策を自費で実施したが、今後さらなる洪水等で浸水があった場合、具体的な水防活動はどのようなものか。
⇒回答：堤防整備によってこれまでよりリスクは下がると考えられるが、それを超えるものについては、世田谷区で引き続き土嚢積みなどの水防活動での対応を行うことになる。
- 意見：令和元年台風で、野川に面したところで浸水がなかったというのは事実と異なる。当該マンションの住民であるが、室内に若干の浸水があった。消防車が来たが、土嚢を積みまなかった。これによって浸水したという事実は述べておきたい。
⇒回答：土嚢のなかった階段付近から溢水したという認識でいた。今回いただいたご意見については承知した。
- 意見：(チャット) 今年が開催されないが、堤防上の通路は鎌田の多摩川河原での花火大会を観にくる人々の動線になるのではないかと思う。

【アドバイザーコメント】

堤防天端は管理用通路として整備し、日常的には一般の散策空間として開放することが望ましいという趣旨が河川管理施設等構造令に記載されている。また、河川法改正20周年に国民の水辺に対するアンケートが取られており、一般に河川に求められているものとしては自然的な空間であること、日常に利用したい方法としては8割くらいが散策と回答されており、河川の堤防はそういった空間として開放されている。

この点を念頭に置いて議論していく必要があると思う。植樹は住んでいる方の環境が変わるので、多様な意見を取り入れて検討する時間が必要である。常緑だとプライバシー面はよいが、日照が妨げられるという課題もある。この点も考慮して今後議論した方がよいと思う。

3. 兵庫橋撤去後の代替機能

- 質問：兵庫橋の撤去後についても、歴史的なものを残してほしいという願いを以前から継続している。原案ではモニュメントが提示されているが、木の橋でもいいので、最低限人が渡れるものができないか。沈下橋はできないのか。設置当初の兵庫橋は洪水時に岸に寄せるなどのことをしていたようだが、そういったことは考えられないか。

⇒回答：引き続き世田谷区とも調整していきたい。沈下橋については、現兵庫橋の下流側に新しい兵庫橋をつくるので、流水を阻害する懸念から、もう一か所橋を設置することは考えていない。飛び石も潜り橋ほどではないが流水阻害が生じるため、推奨できない。可動式の潜り橋といったご意見も踏まえて検討するが、管理とコストの問題も含めて検討していく。

- 意見：野川の流れを遮るようなものは設置するべきではない。また、飛び石は事故が懸念されるため避けるべきだと思う。水の流れを妨げないようなモニュメントについては賛成であるが、兵庫橋を残す案は反対である。

4. その他

- 要望：野川からの流れについて、現在工事の影響により二子橋下流の小川へ水が流入しない状況になっており、干上がってしまいそうな状況である。川辺で遊ばせてもらうものとしては、水量の確保をしてほしい。絶滅危惧種のハグロトンボなども生息しており、こういった環境はぜひ残してほしい。

⇒回答：現地を確認し、治水と環境の観点から対策を検討していきたい。

- 要望：二子橋下流部はヨシが生えるなど良い自然環境になっており、できれば流れを通して環境を残すよう配慮してほしい。川辺で子どもが遊べる環境を作してほしい。

- 要望：次回 WG では、工事後の動線がどうなっているか、資料を用意して事前に示してほしい。

⇒回答：次回 WG にて準備し、配布する。

以上